

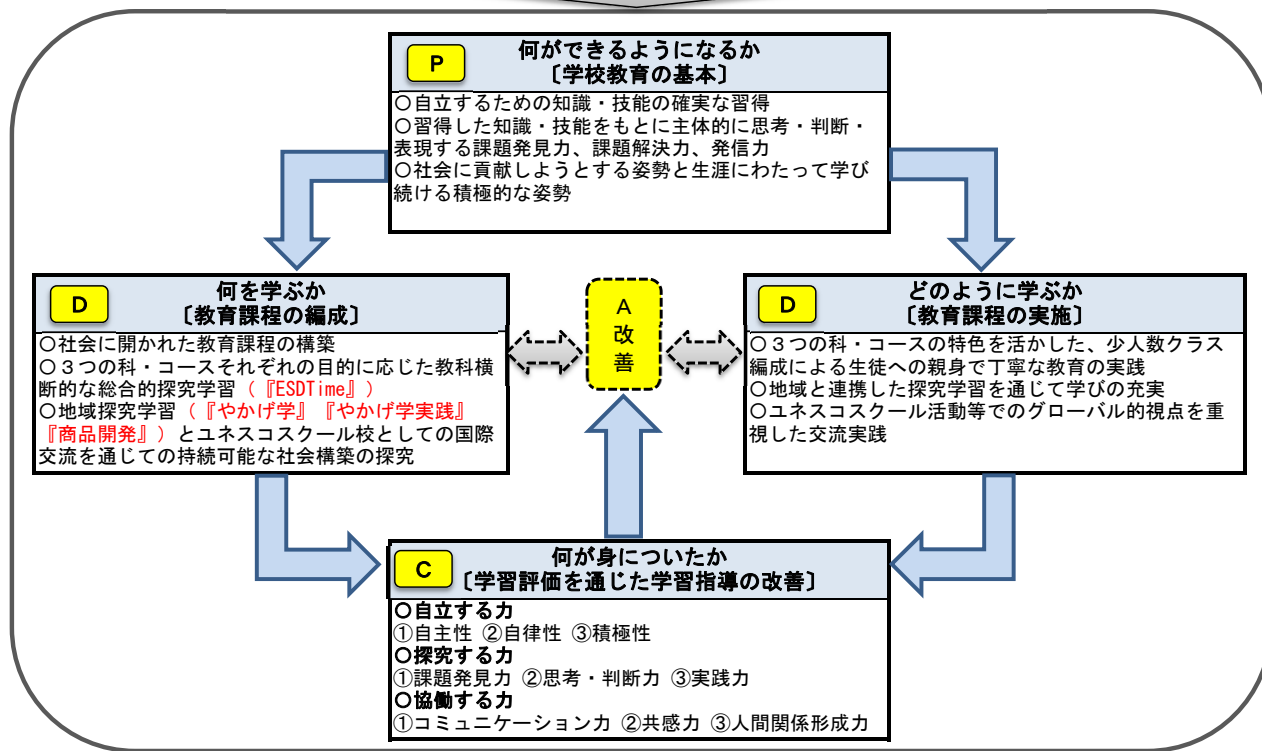
令和6年度 岡山県立矢掛高等学校グランドデザイン

生徒の実態	内外の環境分析
<ul style="list-style-type: none"> ○真面目で素直な生徒が多く、地域連携活動やボランティア活動にも積極的である。 ○学生コンテスト等に積極的に取り組んでおり、課題発見力、発信力、課題解決力を高めている。 ○生徒たち自身に自分のやってみいたいことにチャレンジする前向きな姿勢がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ○科・コースが充実し、少人数クラス編成での個に応じた丁寧な教育活動ができています。 ○高校生の積極的な地域貢献が期待されている。 ○保こ小中高15年間で地域における子どもたちをどのように育てるかという地域と学校との意識の共有が進んでおり、高校が如何にして地域の活性化の一翼を担えるかが問われている。

《生きる力を資質・能力として具体化するための3つの柱》
 ①知識・技能、②思考力・判断力・表現力等、③学びに向かう力・人間性等

学校教育目標	「生徒一人ひとりの可能性を伸ばし、地域の活性化に貢献する学校」 (1) 少人数クラス編成による個々の生徒への丁寧な教育の実践 (2) 地域との連携推進による生徒の人間関係形成力伸長の実践
令和6年度重点目標	(1) 地域との連携を深化させ、生徒の成長が地域の魅力化へとつながる高校づくりの推進 (2) 各コースの特色と少人数クラス編成の強みを活かした、個々の生徒の可能性の伸長 (3) 地域からの学びとユネスコスクール等の活動を活かした、生徒の地域的・グローバル的視点の伸長

目標実現に向けた取組の方針



取組を支える

取組を支える

実施するために何が必要か (指導体制の充実、必要な支援、家庭・地域との連携・協力) ○地域との連携体制(コンソーシアム)での活動を通じて小中高12年間でどのような子どもを育てるのかという地域との共通認識の醸成とそのための実践 ○地域との連携・協働の深化 ○外部人材の積極的な活用 ○「主体的、対話的で深い学び」につながる授業実践(校内外研修の充実)と生徒の課題発見力、課題解決力、発信力向上につながる取組の深化	生徒にどのように支援するか (どのような配慮が必要か) ○生徒の学力や適性、進路志望等を的確に把握し、生徒一人ひとりに寄り添う丁寧で的確な支援 ○科・コースの特徴と地域での学びを活かし、生徒の成長に繋げることによる、生徒一人ひとりの可能性の伸長
--	---